



氷川町長選挙へ立候補は

上田健一 議員

上田 藤本町長におかれましては、平成21年10月の町長選挙で、氷川町2代目の町長に就任され、若くして想像力と行動力に富み、合併間もない氷川町の礎を築いてこられたと考えております。
今年10月の氷川町長選挙に再度立候補される考えがあるのかお尋ねします。

立候補する

私自身が手掛けた道半ばの事業、更に発展させ取り組む事業、新たに取組んでいかなければならない事業等が山積しています。今後その先導役を担い、その責務を果たしていきたいと強く感じています。
従いまして、来る10月20日に執行予定の氷川町長選挙に再度立候補することを決意し表明します。

町政の先導役を

上田 藤本町長は、就任以来一貫して、安心して暮らせ幸せを実感できる氷川町の創造に向けた町政の展開に努められました。町民の多くは藤本町長の堅実な行政手腕に期待し、引き続き町政の先導を願っております。
合併8年目を迎え、合併の真価が問われる時期を迎えると言われております。合併の真価をさらに高めるためにも引き続き町政の先導を担当させていただきますよう願います。

町長 町政を預かる首長として、出処進退を明らかにすることは当然の責務です。
4年前に町職員の職を辞してまで町長選挙に立候補することを決意した最も大きな要因は、ふるさと氷川町を愛するその気持ちそのものでした。今、私にその気持ちがあるのかという事を自問しました。ふるさと氷川町を愛する心はさらに深まり、加えて町民の皆様方が安心して暮らせ、幸せを実感できる氷川町を創り上げたいという気持ちが強く湧き上がっているところです。

公有地の有効活用について

上田俊孝 議員



上田 公有地の状況と売却等の検討については、**企画財政課長** 公有地は宅地2万2,000平方メートル、山林3万8,000平方メートル、その他2万2,000平方メートルを普通財産として所有しています。売却等は田んぼ及び火葬場跡地と考えております。
上田 山林地の活用について、メガソーラー等の導入の考えは。
企画財政課長 公有地の山林は杉山で、東から南向きの条件で、町が所有している山林は条件が合いません。町のエネルギー政策は民有地のメガソーラーの立地の協力及び公共施設等の屋根に

上田 火葬場跡地の活用について、墓地公園、無縁仏を祀る納骨堂の施設の考えは。
企画財政課長 火葬場跡地は野津地区2,692平方メートル、大野地区1,940平方メートル、今地区424平方メートル有ります。火葬場跡地を整備し、その一面に納骨堂を建立し集約する方法も一つの方法だと考えており、関係機関と打ち合わせ、計画的に進めていきたいと考えています。



野津火葬場跡地

火葬場跡地の活用は

そこが聞きたい 一般質問 7 議員立つ

■ 上田健一 議員

①氷川町長選挙への立候補について

■ 上田俊孝 議員

①公有地の有効活用について

■ 吉川義雄 議員

①町長の政治姿勢について
②道の駅竜北の今後の活用について
③交通安全対策について

■ 片山裕治 議員

①氷川町図書館建設及び管理運営について
②氷川町地区懇談会において説明されるべき案件について

■ 三浦賢治 議員

①耕作放棄地解消緊急対策事業について
②入札制度について

■ 田中照男 議員

①国の要請に伴う地方公務員の給与削減について
②インター建設について

■ 江奇 悟 議員

①4年間で山積した課題の総括と氷川町の今後の方向性について
②一般競争入札について



道の駅竜北



耕作放棄地



インターチェンジ

※質問と答弁の記事は、質問議員の責任でまとめたものを、広報委員会でチェックして掲載しています。写真、見出し、答弁者の役職名は広報委員会でつけました。